

つなぐ

Vol.52

2022.3月

2021年、植込み型心電用データレコーダの症例数が通算100症例を超えた。

繰り返す失神発作を認め、心電図やホルター心電図検査等のいろいろな検査をしても原因が分からない場合がある。このような場合に開発されたのが、植込み型心電用データレコーダだ。

長期間（最長3年間）にわたり心臓の拍動を常に監視し、不整脈や失神などの症状が起きたときの心電図を記録する医療機器だが、2016年からは潜在性脳梗塞と診断された患者さんにおける心房細動の検出として植込み適応も認められた。

脳梗塞において主たる原因が特定できない症例が一定の割合で存在する。この原因が心房細動と診断できれば、抗凝固療法による有効な再発予防が行える。当院では脳神経外科と循環器内科がつながり、植込み型心電用データレコーダを用いて原因不明の脳梗塞が心房細動によるものかを確認している。





第61回

小倉循環器内科セミナー

2022年 3月30日(水) 18:00~18:30



冠動脈疾患二次予防のための脂質管理



座 長

小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講 師

小倉記念病院
循環器内科 部長 道明武範

参加方法



Zoomによる
web参加のみとなります!

Zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

